

「甲子園には力がある」



顧問の先生のお話



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

井監督

甲子園から帰還。晴れやかな表情の今



3月27日に、試合を終えた選手、監督たちが学校に帰ってきた。監督の今井義尚先生は、「甲子園は厳しい所という印象でしたが、実際に球場に行くと選手やスタンドを後押し

するエネルギーを間近に感じ、こつこつとところで試合ができることを幸せに感じました。応援も響いていて選手に力を与えてくれ、選手たちは正々堂々と戦うことができました。途中アクシデントもありましたがチーム

が傾くことなく繋がりを持って試合に臨めました。充実感や幸せを感じた。東高旋風を巻き起こせたのではないかと思いません。全校の皆さんには応援ありがとうございました。お伝えしたいです。感想を述べられた。責任教諭の江竜康成先生は「チア、ブラスなどそれぞれ

のところで努力力していただい。前の練習では今までもいろいろな練習場で練習していたこともあり、リラックスしてました。甲子園は全体的に人の動き、エネルギー、求心力がすごいと感じました。甲子園練習で選手たちは甲子園が持つ力に後押しされたのかつまくなるのが早かつ

た。甲子園は高校時代からあこがれの場所です。教員になってからもその思いは続いています。その場に立てて興奮と嬉しさを感じています。裏で働いている方からも「帰っておいで」とお声をかけていただきました。取りこぼしたものを取り返すためにももう一度甲子園に行きたいです。」とおっしゃった。顧問の藤田延代先生は「甲子園という大きな舞台で試合したことを今後の参考に、失敗を成功に導けるようより一層頑張ってください」とおっしゃった。



ベンチで見守る江竜先生
試合前にノックをする村中先生

